

## 101 赦しに関する教え

マタイによる福音書 18 : 15～20、ルカ 17 : 3

マタイによる福音書 18 : 21～35

▶兄弟の忠告（マタイによる福音書 18 : 15～20）

15①「**兄弟（→キリストに従う者）があなたに対して（争い）罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。**

16②**聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。**

→申命記 19 : 15

いかなる犯罪であれ、およそ人の犯す罪について、一人の証人によって立証されることはない。

二人ないし三人の証人の証言によって、その事は立証されねばならない。

17③**それでも聞き入れなければ、教会（→この時点では教会はまだ存在していない）に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人が徴税人と同様に見なしなさい。**

→（リビング・バイブル）それでも忠告を聞き入れないなら、その問題を教会に持ち出しなさい。そして、教会があなたを支持してもなお、相手がそれを受け入れないなら、教会はその人と交わるのをやめなさい。

→コリントの信徒への手紙一 6 : 1～8 <信者同士の争いの法廷持ち込みの禁止>

あなたがたの間で、一人が仲間の者と争いを起こしたとき、聖なる者たちに訴え出ないで、正しくない人々に訴え出るようなことを、なぜするのです。あなたがたは知らないのですか。聖なる者たちが世を裁くのです。世があなたがたによって裁かれるはずなのに、あなたがたにはささいな事件すら裁く力がないうのですか。わたしたちが天使たちさえ裁く者だということを、知らないのですか。まして、日常生活にかかわる事は言うまでもありません。それなのに、あなたがたは、日常生活にかかわる争いが起きると、教会では疎んじられている人たちを裁判官の席に着かせるのですか。あなたがたを恥じ入らせるために、わたしは言っています。あなたがたの中には、兄弟を仲裁できるような知恵のある者が、一人もないのですか。兄弟が兄弟を訴えるのですか。しかも信仰のない人々の前で。そもそも、あなたがたの間に裁判ざたがあること自体、既にあなたがたの負けです。なぜ、むしろ不義を甘んじて受けないのです。なぜ、むしろ奪われるままでいないのです。それどころか、あなたがたは不義を行い、奪い取っています。しかも、兄弟たちに対してそういうことをしている。

18 **はっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐ（→禁止している）ことは、天上でもつなぐれ、あなたがたが地上で解く（→許可する）ことは、天上でも解かれる。**

→（リビング・バイブル）言うておきますが、あなたがたが地上で赦したり、禁じたりすることは、天でも同じようになされるのです。

19 **また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。**

20 **二人または三人がわたしの名によって（→わたしに従う者として）集まるところには、わたしもその中にいるのである。」**

▶ 「仲間を赦さない家来」のたとえ（マタイによる福音書 18 : 21～35）

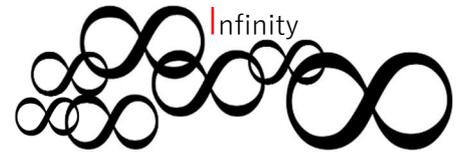
21 そのとき、ペトロがイエスのところに来て言った。

「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」

22 イエスは言われた。

「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。

→他人を赦すことを決してやめてはいけない（回数ではない）。



23 そこで、天の国は次のようにたとえられる。ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。

24 決済し始めたところ、一万タラントン（=10000 タラントン×6000 ドラクメ[デナリオン]/タラントン=6000 万ドラクメ=労働者 6000 万日分の日当）借金している家来が、王の前に連れて来られた。

25 しかし、返済できなかったので、主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。

26 家来はひれ伏し、『どうか待ってください。きっと全部お返しします』としきりに願った。

27 その家来の主君は憐れに思って、彼を赦し、その借金を帳消しにしてやった。

28 ところが、この家来は外に出て、自分に百デナリオンの借金をしている仲間に出会うと、捕まえて首を絞め、『借金を返せ』と言った。

29 仲間はひれ伏して、『どうか待ってくれ。返すから』としきりに頼んだ。

30 しかし、承知せず、その仲間を引っぱって行き、借金を返すまでと牢に入れた。

31 仲間たちは、事の次第を見て非常に心を痛み、主君の前に出て事件を残らず告げた。

32 そこで、主君はその家来を呼びつけて言った。『不屈きな家来だ。お前が頼んだから、借金を全部帳消しにしてやったのだ。』

33 わたしがお前を憐れんでやったように、お前も自分の仲間を憐れんでやるべきではなかったか。』

→赦しは、私たちの行動を通して、実現される神の恩寵（罪深い人間に神から与えられる無償の賜物、恵み）である。

34 そして、主君は怒って、借金をすっかり返済するまでと、家来を牢役人に引き渡した。

35 あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに同じようになるであろう。」

【参考】教会

教会は「キリストの体」、「聖なる神殿」、「真理の柱」、「花嫁」（など）と呼ばれている。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 ]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S エフェソの信徒への手紙	1:23 教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。	
S エフェソの信徒への手紙	2:21 キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。	
S コロサイの信徒への手紙	1:24 今やわたしは、あなたがたのために苦しむことを喜びとし、キリストの体である教会のために、キリストの苦しみの欠けたところを身をもって満たしています。	
S テモテへの手紙 I	3:15 行くのが遅れる場合、神の家でどのように生活すべきかを知ってもらいたいです。神の家とは、真理の柱であり土台である生ける神の教会です。	
S ヨハネの黙示録	19:7 わたしたちは喜び、大いに喜び、／神の栄光をたたえよう。小羊の婚礼の日が来て、／花嫁は用意を整えた。	